


平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-8	区役所庁舎内サイン改修工事	新規	H19年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課		対象者	区役所来庁者		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	<p>平成2年度に完成した現区役所庁舎の庁舎案内板(サイン)は、経年劣化により色落ちしてきた表示や近年の組織変更に伴い、誘導案内板として来庁者に対する十分な機能を果たしておらず、行政サービスの最前線であり、地域住民との接点でもある区役所の窓口としての確かな窓口サービスが提供できていないため、改修工事を実施する。</p> <p>更新にあたっては、今後の組織変更等に備え、職員による修正が可能となるよう紙差し替え式案内板を導入する。</p>					
予算額	2,215,000(円)	決算額	2,214,870(円)	不用額	130(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		<p>庁内案内板(守衛室側EV前1F、正面側EV前2~5F、計5箇所) 各階フロア案内板(守衛室側EV前2~5F、正面側EV裏1~5F、計9箇所)のサイン改修工事を実施した。</p> <p>当該事業で作成・使用したデータは、市の著作物として納入した。</p>			
	 <p>(区役所庁舎内サイン)</p>		実施時期 (開催日/回数等)	平成20年3月	参加 人数等	-

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>小杉駅周辺再開発による新規住民にとってもファーストコンタクトとなる行政の窓口として、的確な窓口案内を行うことは重要であるといえる。</p> <p>区役所庁舎内の案内板の更新を実施したことにより、より便利な窓口サービスの提供ができ、当初の事業目的は達成したといえる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	当事業の目的は達成されたことから終了とする。

区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-9	区民課窓口発券機等改修工事	新規	H19年度	区民課

1 事業概要

事業実施主体	区民課、保険年金課	対象者	区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他(工事請負費)	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	区民課及び保険年金課で使用している個別番号呼び出し機が故障したため、窓口来庁者に対して的確な案内が困難となっているため、混雑期を前に改修を行い便利で快適な窓口サービスの提供を図る。			
予算額	689,000(円)	決算額	688,191(円)	不用額 809(円)
不用の理由				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】	区民課、保険年金課窓口用呼び出し機を改修し、混乱をきたさない窓口案内が可能となった。		
		実施時期 (開催日/回数等)	平成20年3月	参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
区民課、保険年金課で使用している窓口番号呼び出し機が故障し、窓口来庁者の呼び出しに支障が生じたため、混雑期(3月~5月)を迎える前に改修を行いたいため、緊急対応経費による予算措置により改修を行った。 年度内での対応が行えたため、来庁者の窓口呼び出しについては混乱をきたさない案内(窓口サービスの提供)が可能となった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	機器の故障は改善(改修)された。 今後も、来庁者に対して快適な窓口サービスの提供を心がけた対応を進める。

区民会議からの主な意見


--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-10	中原区子育て情報ガイドブック“このゆびと～まれ”印刷	継続	平成18年	こども支援室

1 事業概要

事業実施主体	中原区子育てネットワーク	対象者	区内の乳幼児を持つ保護者	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	転入者が多い中原区においては、地域の公園や子育てに関する施設、子育てを支援する制度等に関する情報をコンパクトにわかりやすく提供することが求められている。そのため、H18年度に実際に区内で子育てをしている、または子育てに関わっている区民が主体となって作成委員会を設置し、どんな情報があったら便利かという視点でガイドブックを作成し区内の乳幼児を持つ保護者に配布した。当初予定では、2年に1回の改訂をしながら発行し、区民に情報提供をする予定であったが、反響も大きく、増刷を余儀なくされ緊急に増刷を行う。			
予算額	1,657,200(円)	決算額	1,638,840(円)	不用額 18,360(円)
不用の理由	ホームページ作成委託料が当初見積もっていた金額より大幅に下がったため。			
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 	平成20年度の改訂版発行までの間に必要となる5000部を、一部内容修正し増刷した。		
	子育て情報ガイドブック 「このゆびと～まれ！」	実施時期 (開催日/回数等)		参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触ること)
こどもを持つ家庭に対して、出生届け時及び転入時に洩れなく配布を行い、中原区の子育てに関する情報をコンパクトな冊子で発信を行っている。今年度は、緊急対応で増刷されたことで、情報の提供を継続することが出来た。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	平成20年度は、平成21年4月発行を目途に子育て情報ガイドブックの改訂版の発行を計画しており、子育て支援ネットワーク会議等を利用して、子育て中の区民が求める情報の収集等を行っていく。

区民会議からの主な意見


--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-11	中原区市民健康の森倉庫環境整備事業	新規	平成19年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課	対象者	市民健康の森を育てる会	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	平成13年に中原区市民健康の森が設立された際に維持管理用具を収納する目的で木造倉庫を設置したが、歳月の経過による劣化が進み雨漏りや変形が起こったため、整備を行った。 整備に関しては、既存屋根の修繕とするかスチール製の新規購入とするかは、育てる会と協議のうえ金額的に安価な方を選択した。( 耐久性を考慮し、スチール製を選択した )			
予算額	200,000(円)	決算額	199,500(円)	不用額 500(円)
不用の理由				
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(設置された倉庫)</p>	<p>維持管理用具が雨による被害から守られ、収納スペースとして有効活用できるようになった。</p> <p>育てる会は自主運営をしている団体であるが、資金面では地元町会と公園事務所からの助成(合わせて7万円)のみで運営していることから、当該事業のようなハード面に及ぶ資金は持ち合わせておらず、協働推進事業で対応することにより会員のモチベーションアップに繋がった。</p>	<p>実施時期 (開催日/回数等)</p> <p>10月13日 1回</p>	<p>参加 人数等</p> <p>会員の立会い 10人</p>

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>緊急対応したことで、維持管理用具の被害が最小限に抑えられたことは評価できる。 また、市の施策で設置された市民活動団体が、市の担当部署の消滅により区役所へ保管換えされた事実があり、区行政の運営にも環境関係として今後の継続した良好な関係を築く意味でも設置した意義があった。</p>
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	倉庫の環境整備という点では、今回の事業は単年度である。 今後については、同様な問題がすぐに発生するとは思わないが、行政内での調整や判断がその都度必要となる

区民会議からの主な意見


--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-12	区役所敷地内花壇の親子植栽体験事業	新規	平成19年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	花クラブ実行委員会		対象者	区内親子		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	<p>区役所正面玄関脇に設置されている池を花壇に改修することにより、来庁者の目を楽しませるとともに憩いの場として提供することで、区役所のイメージアップを図る。</p> <p>親子でコミュニケーションを取りながら愉しんで貰うことを目的に、参加対象を親子に絞り公募し、講師役を勤める委員と一緒に花壇の花を植栽することで親しみのある区役所づくりにも貢献する。</p>					
予算額	486,000(円)	決算額	485,922(円)	不用額	78(円)	
不用の理由						
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p> 		<p>花壇のデザインは一般公募のふるん太君、区役所のマーク等を採用して区内の親子14組と花クラブ実行委員会が区の花バンジーを植栽した。</p> <p>親子のコミュニケーションを基本にイベントを開催したが、他の家族とも会話が生まれる等、交流という部分でも大いに貢献した。</p> <p>また、植栽後の来庁者の感想は、非常に好評であり「区民の手で花いっぱい中原」事業への区役所の取り組みという観点からも成果があった。</p>			
	(植栽の様子)		実施時期 (開催日/回数等)	11月25日 1回	参加 人数等	区内の親子 14組

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>完成した花壇は、華やかで親しみもあると来庁者に大変好評であり、記念撮影を行う通行人や立ち止まって見てくれる人が多くいる点で事業目的に対する成果は十分に得られた。</p> <p>管理作業をする際に来庁者との間で会話が生まれ、親しみやすい区役所づくりの一助となったことは意義がある。</p> <p>排水循環システムの老朽化により使用されずにいた池を有効利用し花による潤いのある区役所として活用する緊急性や重要性があった。</p>
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	<p>上記評価のとおり、本事業の取り組みは大変好評であり継続実施するべきだが、別掲の「区民の手で花いっぱい中原」事業と趣旨や方向性が合致していることもあり、20年度より統合して実施する。</p> <p>また、参加対象者の設定についても活動がより広がるように検討していく。</p>

区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-13	中原区防災マップ作成事業	新規	平成19年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課		対象者	関係課、自主防災組織を中心とした区民、関係機関等		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容	総務局危機管理室・防災マップの作成			
目的及び内容	市民主体による安全・安心のまちづくりを進めるために、区内全域の防災体制などを一目で把握できるようにすることを目的として防災マップを作成し、災害時や地域での防災訓練などに活用する。					
予算額	725,000(円)	決算額	514,500(円)	不用額	210,500(円)	
不用の理由	契約差金(見積合わせ)					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (写真などのキャプション)		災害時に備え、地域での防災訓練などに活用することによって実態に即したものにでき、地域の防災力の向上に役立った。			
	実施時期 (開催日/回数等)	平成20年3月	参加 人数等	-		

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>災害時に区内の状況を把握するツールを確保することは防災対策をとる上で喫緊の課題であり、かつ大変に重要なことであるが、そうした点で今回作成した防災マップは、迅速・的確な対応に大いに役立つものである。</p> <p>また、平常時にも防災訓練や会議の際に活用することにより、実際に防災をイメージするために有用なものであり、従って、本事業は地域の防災対策にとっても大変に有意義なものであったといえる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	作成した防災マップの利用状況等を見ながら、改訂や予算化を含めた今後の方向性について検討していく。

区民会議からの主な意見

--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-14	「歴史と緑の散策マップ」追加更新作成委託事業	新規	平成19年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課		対象者	一般区民（新規転入者）		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他（ ）	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	平成18年度事業で10,000部作成した「歴史と緑の散策マップ」の在庫が少なくなったことと、小杉駅周辺の再開発等で転入してくる新区民に対しての中原区の魅力発信として、現状の最新データに更新することも併せて新たに7,000部を作成した。					
予算額	497,000(円)	決算額	496,387(円)	不用額	613(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		< 別途、成果物あり > 平成20年4月より区民課での転入受付の際に生活ガイド等の配布物と一緒に散策マップを配布している。			
	 (散策マップ)		実施時期 (開催日/回数等)	平成20年3月	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること） 今までは、欲しい人が直接担当課へ取りに来る形で配布していたが、再開発等で多くの転入者がある中で区民課と連携することで、区の魅力発信の意味で積極的に対応している姿勢が打ち出せた。 また、開発等で建物や道路が変化している状況に対して、地図データを適宜調整や修正を加えることで散策マップの鮮度を保つ意味でも重要であった。
---

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	緊急対応での事業であるが、転入者や窓口来訪者には概ね好評である。 データを更新していく部分では、計画的に予算計上していく必要はあるが、在庫との兼ね合いや配布の仕方等では今後も緊急対応で賄う可能性もある。

区民会議からの主な意見


--

平成19年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2-15	区民交流センター 「多目的屋外スペース」創設事業	新規	平成19年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	区役所正面玄関にあった3ヶ所の池について、循環ポンプの故障により長い間未使用であったものを2つの花壇として改修した。当事業は残る1つについて、花壇と一体感のある親しみのある区役所作りを目的とし、段差解消などの危険防止策と3月にオープンした交流センターの屋外多目的スペースとしてウッドデッキを敷設し整備を行った。					
予算額	2,221,800(円)	決算額	2,221,800(円)	不用額	(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		ウッドデッキにしたことで段差解消の安全対策は勿論のこと、花壇との一体感が生まれたことにより、親子と一緒に花壇を見るために座ったり、保育園児が自由に動き回ったりと以前とは比較にならないぐらい人が集まるようになった。また、市民活動団体の活動場所としても「こういう事をやってみよう」との問合せが入るようになってきた。			
	(完成したウッドデッキ)		実施時期 (開催日/回数等)	平成20年3月	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
区役所の顔としての正面玄関を花壇中心に整備したことで、区民の憩いの場作りと親しみのある区役所としてのイメージアップに寄与したことは重要である。また、花壇が先行して作っていたこともあり、注目を浴びると共に3段目との段差解消などの安全対策は緊急性を要した。 3～4月の転入者受付の繁忙期などでも、受付の待ち時間が長くても子供を遊ばせておく場所としては絶好であり、花壇を手入れしている職員とのコミュニケーションや自由に遊べる空間として非常に有効である。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	緊急対応による工事請負のため、完成をもって終了である。 上記の評価理由のとおり作った成果は出ているので、今後の有効利用について関係団体や庁舎管理担当課と協議をしていく。

区民会議からの主な意見

--